

平成27年の議員活動

平成27年5月1日～12月31日までの状況について報告します。

1 本会議等

・9月議会に提案された厚東中学校及び小野中学校の統合議案については、私が所属する会派である新政会においても意見が二分されました。反対意見としては、小中一貫校が制度化されたことで、もう少し議論を深める必要があるのではないかなどの意見でしたが、私としては、それまで多くの議論がなされ、地元でも議論が二分化される中、児童・生徒にとっては、段階的に社会環境に慣れていく必要があるということや少子化や社会の趨勢から言っても統合はやむを得ないのではないかとの考えから賛成をしました。

・12月議会中に実施された市議会全員協議会は、小野地区にあるアクトビレッジおのに係る指定管理について、再度指定管理者の選定を実施するという情報があり、指定管理について再度「選定審査会」を公開で実施をするという今までに例のないことが実施されるということで市議会全員協議会が実施されました。結果としては一回目に選定された団体が選ばれ混乱はありませんでしたが、今後このようなことが再度実施されるのか注視していかなくてはなりません。

2 委員会等

◎産業建設委員会

常任委員会としては、産業建設委員会に所属してありますが、高松市の丸亀町商店街の取り組みを視察しましたが、取り組みが素晴らしく、大変参考になりました。今後、このことを参考にしながらまちづくりに取り組んでいきます。

◎まち・ひと・しごと創生総合戦略調査特別委員会

国の地方創生政策との融合を図る観点から、第四次宇部市総合計画中期実行計画に関連する施策を横断的につなぎ、一体的に展開することを目的とした「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定等に関し、調査、研究を行うため設置された特別委員会ですが、この中で一番議論に上がったのが「(仮称) こどもプラザの建設」です。新設をするのか、設置する場所は、誰が管理運営していくのかなど多くの論点があり、今後、論議を尽くさなければならぬと思っています。

◎宇部阿知須公共下水道組合議会

山口市阿知須地域及び宇部市東岐波・西岐波地域の中の一部地域を下水処理するための一部事務組合ですが、財政状況も絡み整備拡張の進捗状況は鈍っています。合併浄化槽の技術進歩とも相まって、今後下水道で整備してい

くか合併浄化槽で整備していくべきか本格議論をしていく段階に来ていると思います。今後議論を深めていきます。

3 一般質問

・ 6月議会

市県民税の国による一括処理について

- (1) 宇部市における市県民税の概要は
- (2) 国への提案のお考えは

宇部地区税務協議会において議題として上げられ、その中で国に要望を出すようにとのことで、宇部市として12月15日付で要望書として国に文書として提出しているとのことです。今後、私としても実施できるよう、あらゆる方法で国へ訴えていきたいと考えています。

・ 12月議会

- 1 地域の暮らしやすさ指標での宇部市の全国7位について
- 2 市営住宅西岐波団地の余剰地の整備及び利用計画について

1の宇部市の7位については、1月4日の互礼会の市長挨拶でも述べられておられ、宇部市のホームページに掲載され、また東京で1月に行われた「宇部WEEK・宇部ナイト2016」など、答弁どおり「暮らして良し、働いて良し」の本市への移住定住につながるPR活動を積極的に進められています。

2については、平成28年度の宇部市公営住宅長寿命化計画の見直しの時期にあわせ、活用方針を検討することになっている。との答弁なので、今後も注視していきます。

4 今後の取り組み

今後取り組んでいこうと考えている項目について列举をします。

◎ 人口減少社会に対応したまちづくり

昨年（平成27年）10月策定された宇部市人口ビジョンにおいては、45年後の平成72年の宇部市の人口は10万人を割って96,295人と推計されています。40%以上の人口減が予想されていますが、今考えなければならないことの一つに公共施設のあり方があります。市庁舎建設や上下水道の更新など待ったなしの状況です。今後、公共施設全

体としてどうすべきであるか真剣に検討していきます。

また、宇部市では昨年（平成27年）3月に「にぎわいエコまち計画」が策定されました。今後、多極ネットワーク型コンパクトシティーをめざす宇部市の将来計画にむけ、具体的な対応をしていきます。

◎ 安全安心な地域づくり

生活全般の多くの相談に対して引き続き迅速な対応をしていきます。

平成27年（5月～12月）には、道路、土地問題、就職など相談が51件ありました。できる限りの対応をさせていただきました。

◎ 6次産業に育成

西岐波地区には、キャベツ（ソフトろまん）とみかんがあり、特産として有名です。これらの商品を、まず最初に6次産業化するために検討組織を立ち上げ商品開発の取り組みを始めています。

◎ 公共交通網の整備

現在、宇部市地域公共交通網形成計画が策定されようとしています。JR宇部線、宇部市営バスなどの公共交通機関は、市民の移動の足として重要なものです。しっかり議論をしていきます。

◎ 中心市街地の活性化

市庁舎を含む中心市街地の整備は、大変重要な課題です。中央町3丁目の開発はどうしていくのか、現状の宇部市の状況も踏まえ、現実的な対応をしていかなければいけないと思っています。足が地に付いた対策を重ねていくことから波及させていくとの考えから、今後取り組みます。

◎ 社会システム・制度の見直し

市県民税の国による一括処理のように、やり方を変えていけば必ず良くなるものは多く存在すると思います。引き続き具体的な検討の中であたらしい見直しを考えていきます。